

「運動遊びのつどい」を開催しました

～子どもたちの“心”と“体”を健やかにはぐくむまち・豊岡～

市では、幼児期における全身運動が、子どもの心と体の発育にとっても大切であるということの子育て中の保護者の皆さんに理解していただくため、7月16日(月・祝)に、日高文化体育館で「運動遊びのつどい」を開催しました。1部の基調講演、実践発表およびトークセッションには297人、2部の親子ふれあい運動遊びでは親子95組が参加し、運動遊びへの理解を深め、みんなで楽しみました。

《問合せ》こども育成課こども育成係



柳沢運動プログラムの基本の「クマさん歩き」を楽しむ子どもたち



保護者からは、「家でも楽しくやっていく」「今後も継続してほしい」とい

う意見や保育士、小学校教諭からも子どもたちが積極的に取り組む様子など、前向きな意見をいただいています。このように、自分自身に自信を持ち、何事にも意欲的に取り組むということは「生きる力」そのものです。「箕輪町の子どもたち一人ひとりに生きる力を」と取り組んでいますが、「一味違う箕輪の子どもたち」が育ってほしいと願っています。

実践発表 平澤豊満とよみつさん(長野県箕輪町長)
テーマ、運動遊びにかかると長野県箕輪町の取組み



遊びは、昔と今とでは大きく変わってきてお

り、子どもたちの活動量は約30年前と比較すると半減しています。子どもたちは「動ける身体」を持つことで、遊びの幅を広げ、自分たちのコミュニケーションをさらに広げていきます。われわれ大人は、運動支援をすることにより、子ども本来の「群れ遊び」ができるような環境をつくっていくべきではないでしょうか。

基調講演 柳澤秋孝さん(松本短期大学教授)
テーマ、子どもの脳の発達と運動の関係

子どもたちは体を使った「群れ遊び」を通して、友達とのコミュニケーションを学び、運動する喜びを経験し、「こころ」まで育てていたことが分かってきました。しかし、子どもを取り巻く環境や

子どもたちは「動ける身体」を持つことで、遊びの幅を広げ、自分たちのコミュニケーションをさらに広げていきます。われわれ大人は、運動支援をすることにより、子ども本来の「群れ遊び」ができるような環境をつくっていくべきではないでしょうか。

トークセッション 柳澤さん、平澤さん、中貝市長
 ～長野県箕輪町と豊岡市の挑戦～

柳澤秋孝さん

子どもの生活の基本は「遊ぶ」こと。遊ぶことにより、たくさん食べ、しっかりと眠る。また、子どもの遊びは、模倣から始まります。楽しく大人が動かないから、子どもが動かない。子どもを運動好きにするためには、まず、われわれ大人が楽しく動くことが重要です。

平澤豊満さん

まちづくりは人づくりでも



あります。子どもの活性化は豊岡市の活性化であり、豊岡市に住みたいということにつながるのではないのでしょうか。運動遊びを通して、より良いまちづくりにつながればと思います。

中貝市長
 1997年、神戸市の連続児童殺傷事件では、本当にショックを受けました。現代

の子どもたちに何が必要なのか。現在の教育のあり方はこれでいいのか。現場では待つたなしです。大切なのは「小技でもできることをさつとやること」です。豊岡の子育て支援は「小技」の積み重ねであり、「運動遊び」事業はその一つです。

また、「コウノトリの舞うまちに住んでみたい」という方がおられるように、豊岡で子どもを産みたい「豊岡で子育てがしたい」と言ってもらえるような「子育てが楽しいまち」づくりをしていきたいと考えています。

実技指導

柳澤さんによる
 親子ふれあい運動遊び

2部では、柳澤さんの指導による親子ふれあい運動遊びを体験しました。
 子どもたちは、クマさんやカンガルー、ワニさんに変身した後、親子でジェット飛行機や親子ザルなどでコミュニケーションを取りながら運動遊びを楽しみました。



柳澤さんとジャンケンポン！



親子でグーパー跳び

アンケートから（一般参加者）

- 1部（基調講演・実践発表）
- ・トークセッション）
- ・基調講演を聞いて、運動遊びが子どもたちの脳の発達に大変深くかわかることがよく分かった。
- ・この運動遊び事業が本年度から市内の保育園や幼稚園で取り組まれると知り、本当にありがたいと思った。
- ・「大人がまず動く」の言葉にドキツとした。
- ・箕輪町の実践報告を聞き、運動プログラムのすばらし

- さを知ることができた。
- 2部 親子ふれあい運動遊び）
- ・子どもたちみんながとても目を輝かせて楽しんでいるのが印象的だった。
- ・柳澤先生の楽しい指導で初めて運動遊びを体験した。自宅でもできる遊びばかりでこれからは親子でスキンシップを取るためにもしてみようと思った。
- ・簡単に毎日続けられそうだな。今後の、豊岡市の運動遊び「事業に対して
- ・私が子どものころは、近所の子どもと山に行ったり公園で遊んだり、保育園の行

- き帰りは歩いていくこともあった。今はほとんどそのような姿は見られませんが「運動遊び」はきつかけだと思った。期待している。
- ・どんどん広がってほしい。子育てを楽しむことにつながるということ、意識的に取り組んでいくことが大切だと思った。
- ・トップの熱い気持ちや意気込みが伝わった。
- ・「運動遊び」について、さらに情報が欲しいという方は、こども育成課こども育成係まで連絡ください。